

●遊佐町防災ガイドマップについて



いつどこで起きるか予想が困難な災害から生き残るためには、町民の皆さん一人ひとりの備えと対応が最も重要となります。

この防災ガイドマップは、災害に備えておくことや災害が起きた時の対処法などをまとめたものです。

日頃から手の届くところにおいていただき、防災と減災のために活用してください。

▶ハザードマップと避難施設についての留意点

- 本ガイドマップには、津波、洪水、土砂災害の3種類のハザードマップが掲載されています。実際に災害が発生した場合に混乱しないように、それぞれの災害にあわせた避難場所・避難所を掲載していますので確認をお願いします。
なお、津波災害を除く地震災害と、火山噴火時の災害が発生した時の避難場所と避難所につきましては、P30の「避難施設一覧表」をご覧ください。
- 「避難場所」とは、災害時において一時的な避難先となる施設や場所のことを指し、「避難所」は、避難が長期化した場合の生活に使用する施設のことを指します。災害が発生した場合、どの場所に避難すればよいか、確認をお願いします。

- ※例1 吹浦地区宿町の津波発生直後の避難場所は「鳥海山大物忌神社吹浦口ノ宮本殿」で、吹浦防災センターは避難場所にはならない。(吹浦防災センターは、避難が長期化した場合に、避難者生活のための避難所として使用します。)
- ※例2 遊佐小学校及びグラウンドは、月光川で洪水が発生した場合の避難所及び避難場所にはならない。(避難者の生活が長期化する場合には、小学校の浸水及び被害状況を確認し、避難所として使用することもあります。)

気象情報から大雨や洪水に備えましょう

テレビ・ラジオ・インターネット等で発表される気象情報を確認するとともに、実際の雨の降り方にも注意しましょう。また、注意報・警報が発表された時には、内水による浸水にも十分注意しましょう。

	こんな時に発令されます	雨量基準
大雨注意報 警戒レベル2	大雨によって災害が起こる恐れがある場合	1時間雨量：40mm以上
大雨警報 警戒レベル3相当	大雨によって重大な災害が起こる恐れがある場合	1時間雨量：60mm以上
洪水注意報 警戒レベル2	洪水によって災害が起こる恐れがある場合	1時間雨量：40mm以上
洪水警報 警戒レベル3相当	洪水によって重大な災害が起こる恐れがある場合	1時間雨量：60mm以上

❗ さらに大雨が続くと…土砂災害の恐れが高まります!

土砂災害警戒情報

警戒レベル4相当

土砂災害警戒情報とは、大雨による土砂災害発生のおそれがある時に、市町村長が避難勧告等を発令する際の判断や住民のみなさんの自主避難の参考となるよう、各自治体と気象台が共同で発表する防災情報です。